

各 位

平成19年10月31日

会社名 日本ルツボ
代表者名 代表取締役社長
重光 碩
(コード番号 5355)
問合せ先 取締役経理部長
大久保正志
(TEL 03-3443-5551)



業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年8月10日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

米国会計基準採用の有無 無

(金額の単位:百万円)

1. 連結業績予想数値の修正

(1)20年3月期中間連結業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,000	175	135	10	0.71
今回修正予想(B)	5,167	273	244	73	5.17
増減額(B-A)	167	98	109	63	-
増減率(%)	3.3	56.0	80.7	630.0	-
(ご参考)前年中間期実績 (平成19年3月中間期)	4,696	259	208	112	7.97

2. 個別業績予想数値の修正

(1)20年3月期中間個別業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,700	125	110	10	0.71
今回修正予想(B)	4,808	218	206	71	5.01
増減額(B-A)	108	93	96	61	-
増減率(%)	2.3	74.4	87.3	610.0	-
(ご参考)前年中間期実績 (平成19年3月中間期)	4,423	206	187	111	7.88

3. 修正の理由

連結単体とも、収益が予想を30%以上上回る数字となったため、業績修正を行う事にいたしました。主な要因といたしましては

1. 8月、9月の売上利益が予想と比較してだいぶ大きな数字になったこと。
2. 9月に計上したロイヤリティー収入が予想を大きく上回ったこと。
3. 標準原価と実際原価の差額(原価差額)の売上分と在庫分への調整計算において原料高騰に対抗するための原料備蓄などの在庫増加の影響で、調整分が利益増加方向に振れたこと。
4. 未実現利益の調整、持分法による損益などが全て利益増加方向に振れたこと。

以上のような状況が重なり、大幅な業績修正になりました。

なお、通期予想に関しましては、現時点でも原材料の上昇が止まっていないため予想が難しく、前回8月10日時点の予想のままいたします。

以上